

令和7年度学力・学習状況調査の実施について

1 目的

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることで学力向上に資する。

2 実施日

令和7年4月17日（木）

※ 小学校6年生の児童に対する質問調査は4月18日（金）から4月30日（水）までの間で、各学校の希望を踏まえて文部科学省が指定する日に実施

※ 中学校3年生の理科及び生徒に対する質問調査は4月14日（月）から4月17日（木）までの間で、各学校の希望を踏まえて文部科学省が指定する日時に実施

※ 学校に対する質問調査は4月1日（火）から4月17日（木）までの間に実施

3 対象

全 国 調 査	岡 山 県 調 査
○小学校6年生の児童 ○中学校3年生の生徒	○小学校3～5年生の児童 ○中学校1・2年生の生徒
* 特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、次に該当する児童生徒は、調査の対象としない。 ・ 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒 ・ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒	
* 日本語指導が必要な児童生徒については、各学校の判断により、調査時間の延長、ルビ振り問題の使用などの配慮を可能とする。ただし、日本語指導のための取り出し指導を受けているなどの事情がある場合は、当該教科を調査の対象としないことを可能とする。	

4 内 容

	全 国 調 査	岡 山 県 調 査
教 科 に 関 す る 調 査	【小学校6年生】 国語、算数、理科 【中学校3年生】 国語、数学、理科	【小学校3～5年生】 国語、算数 【中学校1・2年生】 国語、数学、英語
	*前学年までの学習内容 *基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる問題	
	*中学校理科は、 <u>一人一台端末を活用して、文部科学省C B Tシステム（M E X C B T※2）によるオンライン方式（C B T※1）で実施</u> *中学校理科以外は従来どおりの冊子を用いた筆記方式（P B T※3）で実施	*英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域が対象
質 問 調 査	児童生徒に対する質問調査（オンライン方式） 【小学校6年生、中学校3年生】	児童生徒に対する質問調査（筆記方式） 【小学校5年生、中学校1・2年生】
	*学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容	
	学校に対する質問調査（オンライン方式） *指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する内容	

※1 C B T : Computer Based Testing の略。コンピュータを使用した調査、テスト

※2 M E X C B T : メクビット。M E X T（文部科学省）とC B Tを組み合わせた名称。文部科学省が、G I G Aスクール構想により、一人一台端末環境が整備されたことを踏まえ、児童生徒が学校や家庭において、国や自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる公的C B Tプラットフォーム

※3 P B T : Paper Based Testing の略。紙を使用した調査、テスト

【参考資料1】MEXCBTを用いた調査のイメージ

- MEXCBTを活用して問題を解く際の基本的な流れは以下のとおり。
 - ① 開始前までに、教師は、問題を配信する。
 - ② 児童生徒は、学習eポータルからMEXCBTにアクセスする。
 - ③ 児童生徒は、問題を解く。
 - ④ 解答後、児童生徒は、終了ボタンを押して、終了。



【参考資料2】令和7年度全国学力・学習状況調査 CBT サンプル問題（中学校理科）

全国学力・学習状況調査 CBT サンプル問題 令和7年度 中学校理科 - 問題 問題：3/12

問題一覧 ×

開始

問題②

問題

1 2 3 4
5 6 7 8
9 i

正答例

i

授業で習ったことを活用して、振り返っています。

右の動画を見ましょう。

動画をクリックして再生

動画を見ると、(X) が働いたため、(Y) ということが起きています。

動画

【問い】
空欄Xには、「摩擦力」、「重力」の中から1つ選びなさい。
さらに、空欄Xで選んだ力が働いた結果、起きたことを空欄Yに書きなさい。
なお、空欄Xには、「摩擦力」、「重力」のいずれを選んでもかまいません。

空欄X 選択肢から選ぶ
空欄Y 一選ばないー
摩擦力
重力

【選択】プルダウンにより解答

【記述】キーボード入力により解答

© 2013 - 2024 - 2023.07 - Open Assessment Technologies S.A. - All rights reserved.

(文部科学省ホームページより引用)